

ご挨拶

相模原中ロータリークラブ
2025～2026 年度
会長

藤本 恵介



本年度、相模原中ロータリークラブでは「つながり」を大切に、よいことのために手を取り合ってインパクトを与える一年を目指して活動してまいりました。その取り組みの一つとして、相模原の特色でもある「ロボット」をテーマに、人とロボットが共に生きる社会について学び、奉仕の実践を重ねております。「ともに生きるロボットたち」の取り組みなどを通じ、ロボットが人や地域を支える未来の可能性を実感してまいりました。相模原では6月10日が「さがみはらロボットフレンドリーデー」として登録されています。本日のIMが、人と人との「つながり」を深め、そしてもしかするとロボットもそのつながりの一役を担う、相模原らしい時間となれば幸いです。

相模原中ロータリークラブ
2025～2026 年度
IM 実行委員長

櫻内 康裕



第10グループ6クラブの会員の皆様へ、インターシティミーティング（IM）開催のご案内を申し上げます。今回はガバナー補佐とホストクラブが同一クラブでの開催となりました。AI やロボット技術が急速に進む時代、本IMでは「ロボットと人が共に生きるまちへ」をテーマに講演を通じて理解を深めていただきたいと考えております。IM が各クラブの情報交換や親睦を深め、さらなる活性化につながる機会となれば幸いです。懇親会では、もしかすると？ロボットも参加しての交流ができるかもしれません。多くの会員のご参加を心よりお待ち申し上げます。

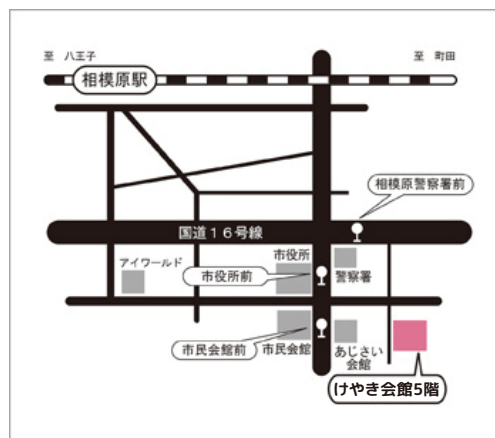
プログラム (予定)

13:30	受付開始
14:00	第1部 IM開始
14:40	休憩
14:50	第2部 講演
16:20	第3部 IM閉会式
17:00	第4部 懇親会
18:20	懇親会終了

アクセス

会場：けやき会館 5階 大樹の間

所在地：〒252-0236 相模原市中央区富士見6-6-23



【相模原中ロータリークラブ事務局】

〒252-0239
神奈川県相模原市中央区中央3-6-6トーエイビル202
TEL: 042-851-4474 / FAX: 042-851-44755
E-mail: rotary@tbg.t-com.ne.jp

国際ロータリー第2780地区
第10グループ

2025～2026 年度

INTER CITY MEETING

テーマ
ロボットと人が共に生きるまちへ
—都市インフラがつくる新しい社会—

日時

2026年5月30日(土)
開会 14:00 (受付開始: 13:30)

場所

けやき会館
5階 大樹の間

ホストクラブ

相模原中ロータリークラブ

第10グループ

相模原南ロータリークラブ/相模原西ロータリークラブ
/相模原東ロータリークラブ/相模原柴胡ロータリークラブ
/相模原かめりあロータリークラブ



INTER CITY MEETING

ご挨拶

国際ロータリー第 2780 地区
2025～2026 年度
第 10 グループ ガバナー補佐
豊岡 淳



第 10 グループの Intercity Meeting (IM) 開催にあたり、ご挨拶申し上げます。

2025-26 年度、松下ガバナーは地区方針として「ロータリーを楽しもう (Have Fun Rotary)」を掲げられました。そこで私は、第 10 グループの皆様と共に学び、語り合い、そして楽しめる IM の開催を目指して企画・立案いたしました。私たちの活動地域である相模原市は、「さがみロボット産業特区」として、人口減少や高齢化社会を見据え、生活支援ロボットの実用化と普及に取り組んでいます。

ロボットが実際に活躍し、人々の暮らしを支える安全・安心な社会の実現は、私たちロータリアンの願いとも通じるものがあるのではないのでしょうか。

今回の IM では「ロボットと人が共に生きるまちへ」と題し、戸田建設株式会社の黒瀬義機様よりご講演を頂きます。

講演では、「社会課題の解決」「高齢社会への対応」「地域生活の支援」「未来の街づくり」などについて学び、そこから地域社会の発展やロータリーの奉仕活動へとつながる機会にしたいと考えております。

この学びと出会いが、皆様のクラブの歩みに新たな気付きと広がりをもたらすことを願っております。

当日は多数のロボットたちと共に、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

講演テーマ

ロボットと人が共に生きるまちへ —都市インフラがつくる新しい社会—

今、相模原市は、2026 年 2 月～3 月にかけて実施された本庁舎での配送ロボット（(愛称)はこまる）のエレベーター自動連携実証実験の成功、さがみはらロボットビジネス協議会の活発な活動など、人とロボットが共に生きる「ロボットのまち さがみはら」の実現に向けて着実に進んでいます。

実証実験で動いているロボットの姿は、新聞・TV などマスコミに取り上げられ、本庁舎を訪れた多くの市民の方に見ていただき、「ロボットに愛着を感じた」等のコメントがあったと聞いています。

将来、ロボットと人が共に生きる社会は間違いなくやってきます。それに備えて、新しい都市インフラが必要になります。その時に私たちの生活はどうなっているのでしょうか。

便利になることは間違いないと思いますが、そこでは今まで以上にわくわくする生活を送りたいですね。

今回は、「ロボットと人が共に生きるまちへ—都市インフラがつくる新しい社会—」をテーマに、本庁舎でのロボット実験をトータルコーディネートされた 戸田建設 黒瀬様に、本庁舎での実験成功の体験談や、他のロボット活用事例をご紹介頂き、参加者の皆様と一っしょによりわくわくするロボット活用について考えていきたいと思っています。



講演者

黒瀬 義機



戸田建設株式会社

事業化推進部 ロボフレ推進課
部長



【プロフィール】

ゼネコンでは珍しく、ロボット導入コンサルティング専門部署を立上げ全国案件対応中。実績としては、相模原市役所本庁舎ロボット実証実験、ジャパネット長崎スタジアムシティロボット実装他多数の導入成功事例をリード。また（一社）ロボットフレンドリー施設推進機構 TC 長、大阪大学ロボフレ招聘教員他に就任し、様々な業界でのロボット導入をサポート中。趣味は、お酒と仕事。